



「ステップアップ」のきっかけとなりました

荒木 健（あらか たけし）

受講講座：日商簿記検定講座3級コース
勤務先：高槻市総務部

この度は、文部科学大臣賞という荣誉ある賞を賜り、たいへん光栄に存じます。また、日本通信教育学園のご担当者様には、ご指導いただき、たいへんお世話になりました。厚くお礼申し上げます。

私は、一昨年度に、指定管理者制度の運用業務を担当するにあたり、法人の決算資料などに触れることとなりましたが、それらの資料を読み込む知識がなく、業務にあたるにつれて、このままでは適切な制度運用に資することができず、知識の習得が必要であると感じました。また、簿記については以前から興味があり、今後、業務はもちろん、個人的な家計のことを考えるためにも活かすことができると思い受講を決めました。

講座はテキストとワークブックをもとに学習を進め、添削問題を提出するものとなっています。私の場合は、まずテキストを一通り読み進めました。テキストを読み込むことで知識の土台はできたのですが、実際にワークブックの問題を解くとなると難しく、なかなか進められずに焦りを感じました。ですが、しっかりとテキストを振り返りながら、重点的にワークブックにより体系的な知識の定着をセットで進めることで次第に理解を深めていくことができました。その後、別冊の手引によりテキストの内容を確認しながら、添削問題に取り組みました。添削問題については、講師の方への質問もでき、添削後、毎回返してくださる際のコメントが励みとな

り学習のモチベーションにもつながりました。また、通学の必要がなく、自分のペースで学習を進めることができるため、仕事外の時間での学習であっても、途中で投げ出すことなく継続して取り組むことができました。

講座終了後は、法人の決算資料について、知識を活かして内容を理解することができるようになりました。また、今年度の4月からは人事異動で債権回収業務を担当することとなりましたが、そちらでも決算資料の確認が必要となり、同様に成果を活かすことができています。異動があり多様な業務を担当することがあっても、簿記に関する知識は活用の幅が広いと改めて実感しています。

今回の受講は、決算資料の理解に必要な知識を得ることを目的に取り組ませていただきましたが、たいへん有意義なものとなりました。当初は資格試験の受験までは考えていませんでしたが、今後、業務でより実践的に知識を活かしステップアップしていくため、3級の試験へチャレンジし、2級についても学習を継続していきたいという意欲が湧いてきました。その際には、改めて、本講座の2級についても受講したいと思います。